



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月5日

上場会社名 株式会社 電響社

上場取引所 東

コード番号 8144 URL <https://www.denkyosha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 周平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部統括部長兼経理部長 (氏名) 栗嶋 裕充

TEL 06-6644-6711

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,354	12.2	197		396		227	
2020年3月期第1四半期	11,901	13.4	80		20	91.8	18	89.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 555百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 252百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	37.37	
2020年3月期第1四半期	3.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	36,071	24,998	69.3
2020年3月期	34,539	24,564	71.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 24,998百万円 2020年3月期 24,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を現時点において合理的に算定することが困難であることから、記載しておりません。

当該業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.6「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	6,665,021 株	2020年3月期	6,665,021 株
2021年3月期1Q	564,804 株	2020年3月期	564,741 株
2021年3月期1Q	6,100,247 株	2020年3月期1Q	6,100,431 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を現時点において合理的に算定することが困難であることから、記載しておりません。

当該業績予想については、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による自粛ムードが4月の緊急事態宣言発出により一層高まり、外出や営業の自粛、商業施設の休業、時間短縮営業等によって経済活動が急速に停滞いたしました。

また、同感染症の世界各地での急拡大による渡航制限、インバウンド需要の消失、企業の生産活動の減少もあり、経済の先行き不透明感が一段と強まってまいりました。

5月に緊急事態宣言が解除されたものの、同感染症の収束時期は見通せず、今後も企業活動の在り方、生活様式、消費者の購買動向は、大きく変化してくるものと思われまます。

当社グループの主要販売先である専門量販店等におきましては、実店舗でのインバウンド需要の消失に加え、同感染症の拡大防止のために休業を余儀なくされた店舗があった一方で、生活様式の変化による巣籠り需要の増加、ECサイトでの購入の拡大等もあり、当社グループが取り扱う生活関連商品の需要は伸長いたしました。

こうした状況の下、当社グループにおきましては、グループ社員の感染防止策を講じたうえで、消費者が求めている商品、生活様式の変化に対応する商品の発掘など、積極的な営業施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は133億5千4百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

一方、利益面におきましては、売上総利益率の改善、並びに販売費及び一般管理費全般の見直しを図ったこと等により、経常利益は3億9千6百万円（前年同期は2千万円の経常利益）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損2千5百万円を特別損失に計上いたしましたでしたが、2億2千7百万円（前年同期は1千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当連結会計年度の資産につきましては、前連結会計年度末比15億3千2百万円増加し、360億7千1百万円となりました。

これは主に、現金及び預金で2億8千9百万円、受取手形及び売掛金で9億9千7百万円、たな卸資産で5千万円、電子記録債権で1億2千7百万円それぞれ増加したことなどにより、流動資産で11億5百万円増加、投資その他の資産の投資有価証券で4億5千1百万円増加したこと等により、固定資産で4億2千6百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末比10億9千8百万円増加し、110億7千3百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が4億6千9百万円、短期借入金で5億5千万円それぞれ増加したことなどにより、流動負債で10億5千2百万円増加、長期借入金が4千9百万円減少した一方で繰延税金負債が1億円増加したことなどにより、固定負債で4千5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末比4億3千3百万円増加し、249億9千8百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益2億2千7百万円による増加があった一方で配当金の支払い1億2千2百万円があったこと、その他有価証券評価差額金の増加3億2千8百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期業績予想数値は、新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明なことから、現時点におきましては、適正かつ合理的な算定が困難なため、引き続き未定とさせていただきます。なお今後、新型コロナウイルス感染拡大の動向を注視しながら、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,646	5,936
受取手形及び売掛金	7,087	8,085
電子記録債権	673	800
たな卸資産	4,639	4,690
その他	1,607	1,246
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	19,653	20,758
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,311	1,300
土地	1,880	1,880
その他（純額）	93	98
有形固定資産合計	3,285	3,280
無形固定資産		
のれん	294	286
その他	227	226
無形固定資産合計	522	513
投資その他の資産		
投資有価証券	3,895	4,346
貸貸固定資産（純額）	3,769	3,759
長期預金	2,825	2,823
その他	591	593
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	11,078	11,518
固定資産合計	14,886	15,312
資産合計	34,539	36,071

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,746	5,216
短期借入金	2,600	3,150
1年内返済予定の長期借入金	199	199
未払法人税等	178	124
引当金	195	273
その他	673	682
流動負債合計	8,593	9,646
固定負債		
長期借入金	416	366
退職給付に係る負債	215	214
その他	748	845
固定負債合計	1,381	1,426
負債合計	9,975	11,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,644	2,644
資本剰余金	2,560	2,560
利益剰余金	19,044	19,150
自己株式	△650	△650
株主資本合計	23,598	23,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	961	1,290
繰延ヘッジ損益	3	2
その他の包括利益累計額合計	965	1,293
純資産合計	24,564	24,998
負債純資産合計	34,539	36,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,901	13,354
売上原価	9,872	11,011
売上総利益	2,028	2,343
販売費及び一般管理費	2,109	2,145
営業利益又は営業損失(△)	△80	197
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	48	44
仕入割引	177	187
投資不動産賃貸料	82	80
その他	17	14
営業外収益合計	326	327
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	102	99
不動産賃貸原価	34	24
支払手数料	69	—
その他	17	2
営業外費用合計	225	129
経常利益	20	396
特別利益		
負ののれん発生益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
投資有価証券評価損	1	25
特別損失合計	1	25
税金等調整前四半期純利益	72	370
法人税等	53	142
四半期純利益	18	227
親会社株主に帰属する四半期純利益	18	227

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	18	227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△270	328
繰延ヘッジ損益	△0	△0
その他の包括利益合計	△271	327
四半期包括利益	△252	555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△252	555

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。